

沢訓練「幌別鉦山滝沢」

2022年7月10日(日)

CL 小山内

滝班：L長沼 SL 宇佐美 内山 酒井 八重樫
太田 増川 渡邊

沢班：L戸島 SL 澤田 安藤 武川 宇田
笹山 川村 成田 17名

山行行程

7:30 見晴らし公園 8:40 入渓 11:50 縦走路(昼食)

12:30 下山開始～14:50 入渓場所到着

～15:30 見晴らし公園、解散

登り3時間10分 下り2時間20分

山行時間6時間10分(休憩含む)

天気予報は雨、しかしながら集合した時には曇り空。雨が降る様子はなく出発。車は開いていた林道ゲート通過。今にも崩れそうな道を落石や木の枝をよけながら、入渓地点手前の駐車スペースに到着。早速、準備に取り掛かる。皆で沢装備の点検、体をほぐし入渓。

歩き始めると我が班の先頭がだんだん離れていく。年のせいか急げども追いつけない。気温が上がり汗だく遡行、涼しい沢登りのはずがとんでもなく暑い。それでも、先頭が休んでいたおかげで、やっと追いついた。やれやれ。



CL が沢の登り方など訓練しながら遡行してくださいと声。遡行訓練しながら歩くようになったので、やっと一緒に歩けるようになった。良かった。



ゴロゴロと大小の石が転がるところを慎重に、大岩手前からナメが出てきた。CL がナメで滑って流された事例を出し「安全と思われる場所でも水量、川底の

状態で滑って転ぶことがあるので確認しながら歩くように」と指示があり、慎重に歩く。



草付きのへつり、シャワークライミング(全身濡れでの滝登り)、高巻き等慎重に登る。



岩と泥土の入り混じった壁、そして、藪を漕ぎ室蘭岳の縦走路の到着。天気予報とは裏腹にカンカン照りの日差し。日を避け木陰で昼食。汗をかいたせいかわいた漬物が美味しい。休む間もなく下山。足を滑らしながら泥付きの壁を下り、高巻きで登ったところを懸垂下降。深みのある川の右岸泥壁を慎重に通過。(足を滑らせ川にドボン数名)。痛いおもいをした人も？



時間を忘れて気づけば入渓場所に到着。濡れたまま車に乗り申し訳ありません。リーダー楽しい一日でした。ありがとうございました。記 渡邊

